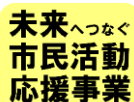


～ 市民とともに 栗東をよりよいまちに ～

市民参画と協働による

まちづくり通信



No.124

令和7年12月8日発行

《問合せ》自治振興課 自治協働係

TEL : 551 - 0290

(内線 : 3520)

FAX : 551 - 0432

メール : jichishinko@city.ritto.lg.jp

「これから活動を始めたい！」
「活動はしているけどうまく軌道に乗らない・・・」と感じている方や団体にぜひ読んでいただきたい内容です！

今回は、市の助成金を効果的に活用したモデルケースとして「シニア子育てサロンぽっけ」（以後、ぽっけ）を紹介します。ぽっけは栗東100歳大学を卒業したメンバーで立ち上げ、市の助成制度を6年間活用し、令和7年度で助成金を卒業する予定です。

ぽっけは、なぜ助成金を卒業することができたのか？

ぽっけの代表である松江由多加さんにお話を伺いました。

市：松江さんは100歳大学を卒業してすぐにぽっけを開始したのですか？

松：100歳大学の中から構想はあり、2年間私以外のメンバーで準備を進めていた。実は私以外のメンバーは女

性で子育て経験もあるが、なかなか始められなかった。それは子どもを預かることが怖かったからだ。私が代表をするので始めようと言ってスタートした。今では分かるが、その当時は、子どもを預かるということがどういふことが、私だけ分っていたいなかった。私は子育てをほとんどしてこなかった。ので始めることができた。市：ぽっけを始めてどうでしたか？

松：今はみんなに顔つきがすごく変わったと言われる。最初は恐る恐るだったが、他のメンバーだと泣いている子どもを、私が抱っこすると泣き止むと嬉しくてたまらなくなった。自分の家族には、「今頃子育てに夢中になって・・・」と笑われている（笑）
市：助成制度を活用されてみてどうでしたか？

代表 松江 由多加 さん



松：感謝している。毎年、課題を与えられてステップアップすることができた。例えば、助成金の審査で、メンバーだけでやろうとせずいろんな団体と連携しながら、活動するように言われ、別の団体（ユウユウ Tannony 他）と積極的に交流するようにした。ここにある遊び道具はほとんど、そうした団体のメンバーから頂いたもの。それまでは何にもなかった。また、次の年の審査では、助成金の多くを活動場所の賃料に充

てていたが、なぜお金がかかる場所で活動しているのかと問われて、確かにその通りだなと思った。コミセンを借りればもっと安く運営できる。今の場所から移ろうかとオーナーに相談したところ、協力するからこの場所が続けたらどうかと言ってもらえた。市の助成をもらって活動しているから信頼してもらえたところもあると思う。

市：3年の間、毎年20万円の助成金(注1)を活用されて、その後ふるさと納税を活用した助成制度(注2)にチャレンジされましたが、そこらはどうでしたか？

松：自分が働いていたころの知り合いにも寄附のお願いに行った。その中で、ありがたいことに、ふるさと納税を介さずに寄附していただく申し出を受けた。

活動の様子



その他にも、活動を応援したいといって格安の賃料で場所を提供していただいている。そのような経緯もあり、市の助成制度に頼らずとも活動を継続できる見通しがついたため、助成金を卒業させていただくことにした。

市：続けてこられた理由と今後について教えてください。
松：仲間同士、コロナ禍も乗り越え、お互いに助け合う気持ち強い。子育て支援だ

けじゃなくて、スタッフの居場所になり、刺激にもなっている。今後は、自分たちの楽しみだけでなく、色々な形で地域がつながり、そこから、子育て支援に限らず新しいものが出てくればいいと思っている。社会のもっと役に立ちたい。

市：ぼっつけの今後が益々楽しみです。松江さん、ありがとうございました。

今回取材させていただいて、概して思い通りにはいかないこと、助成制度には資金以外の効果があること、積極的に地域のつながりを作りながら改善に取り組んだ結果、ぼっつけの活動の土台が出来上がったことがよく分かりました。

団体の立ち上げ、助成金の活用、自立に向けた取組みなど、ぜひ参考にしてみてはいかがでしょうか。

ぼっつけも活用された市の助成制度を紹介します！

(注1)「元氣創造まちづくり事業」は立上げ支援を目的とした助成制度です。年間上限20万円の助成金を最大3年間受けることができます。

(注2)「未来へつなぐ市民活動応援事業」はふるさと納税を活用した自立支援を目的とした助成制度です。採択されると3年間支援希望団体に登録され、寄附を募ることができます。

※これら助成金の取得には、審査会にて助成団体として採択される必要があります。詳細は本記事上部にあるQRコードよりご確認ください。

